

<<東北魂>>を鼓舞する
電子新聞

発行所 株式会社遊無有

〒207-0005
東京都東大和市高木3-315-1-2-2
http://www.yumuyu.com/
e-mail:yumuyu@wj8.so-net.ne.jp

東北復興

Rising up, TOHOKU!

2015年(平成27年)6月16日 火曜日

無料

第37号

毎月発行

創刊2015年(平成27年)6月16日 火曜日

仙石東北ライン開業 新たな直通サービスを開始します。

仙台圏と石巻圏を新たに結ぶ直通運転を開始します。最速達の特別快速列車は、仙台～石巻駅間を52分で結び、2011年3月の最速達列車と比較して下り列車は12分、上り列車は11分短縮します。

●東北本線と仙石線を新たな線路で結ぶ仙石東北ラインは、28本(上下各14本)運転します。●仙石東北ラインは3種類の停車パターンで、すべて快速列車として運転します。

仙石東北ラインは、環境に優しい新しいディーゼルハイブリッド車両(HB-E210系)で運転します。



仙石線再開路線図～JR 東日本

これで石巻の復興加速なるか 待ちに待った4年2カ月ぶりの 仙石線(仙台～石巻)全線復旧

再開で最大被災地へのアクセス大改善 復旧前は代行バスに乗り換え約2時間を 要したが最速 52 分に大幅短縮した

この日、石巻駅や野蒜駅では開通記念イベントが行

盛り沢山の開通記念 イベント

この車両の外観は仙石線沿線の桜の名所をイメージしたピンク色と仙石線のラインカラーのブルーと東北本線のそのグリーンを基調にしたものになっている。

東北本線に接続する「仙石東北ライン」も新たに運行開始
東日本大震災以降、一部不通となっていた仙石線が5月30日に全線開通再開した。

4年2カ月ぶりに再開された仙石線は、東北本線とも接続する仙石東北ラインも新たに運行を開始、仙台～石巻間を最速52分で繋ぎ、大幅に利便性が向上した。

東北本線に接続する「仙石東北ライン」も新たに運行開始



寄稿者プロフィール
櫻井 政文氏
(昭和二十五年四月九日生)

この日、石巻駅や野蒜駅では開通記念イベントが行

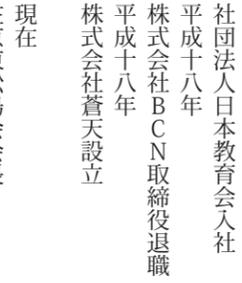
地元の期待も乗せた 快適な新車両

石巻駅から矢本駅まで新車両に乗って見たが、揺れや騒音が少なく快適で、また、セミクロスシートを使った客席は乗り心地が良かった。

また、記念式典では石巻小学校の鼓笛隊の演奏が場を大いに盛り上げた。駅周辺では物産展、街中では探検クイズ、石ノ森萬画館特設ステージではアニメソングやライブパフォーマンスが繰り広げられた。

石巻駅では5時25分発仙石線一番列車と6時35分発仙石東北ライン一番列車の見送り式が行われ、亀山紘石巻市長が運転士に花束贈呈、佐々木和夫石巻駅長の発車の合図で、関係者が手旗を振りながら、盛大に見送った。

再開を伝える当日の現地新聞



任理事
東松島市大溜行政区副区長
東日本大震災以降、義捐金、炊き出し、復興支援販売等の被災地支援活動に尽力し、復興事業の立ち上げ、復興支援イベント等の開催に注力されており、それらの実行委員会、推進委員会等の事務局長に就任している。

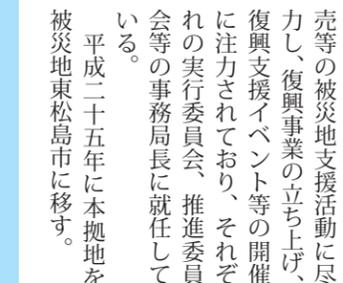
再開を伝える当日の現地新聞

マンガ列車もご帰還 仮装で交流 盛り上がる

仮装で交流 盛り上がる
コスプレイヤーや一日駅長とともに、アニメソング歌手の水木さんと遠藤さんが出発を合図した(30日午前10時25分ごろ)

「おかえり」「この日を待っていた」
震災による被害で一部不通となっていた仙石線が30日、4年2カ月ぶりに全線での直通運転を再開した。同時に増大した仙石線と東北本線の期待に呼応し、石巻～仙台間、高台

ホームに笑顔の花満開
お祝いムード



石巻日日新聞社
〒986-0874
石巻市双葉町8番17号
電話 0225-95-5231
フックス 0225-94-4720
郵便振替口座 02240-3-4424
©石巻日日新聞社 2015
Hibi-net
http://www.hibishinbun.com
info@hibishinbun.com

再開を伝える当日の現地新聞

再開を伝える当日の現地新聞

再開を伝える当日の現地新聞

再開を伝える当日の現地新聞

再開を伝える当日の現地新聞



再開を伝える当日の現地新聞



市長と駅長と女性の運転士



ピンク/ブルー/グリーンの新車両



全線復旧を祝うセレモニー



地元の石巻工生徒の歓迎ぶり



ゆるキャラも祝う



立看板とボランティア



秋田 竿燈まつり



山形 花笠まつり



福島 わらじまつり



盛岡 さんさ踊り



仙台 七夕まつり

東北六魂祭

今年で5回目を迎えた東北六魂祭
5/30・31の両日、秋田で盛大に開催
2日間の人出は予想を大きく上回る26万人
次回開催は東北六県最後の青森

東北大震災からの復興を願って、仙台、盛岡、福島、山形と開催されてきた東北六魂祭が、五月三十、三十一日に秋田市で開かれ、三十一日、閉幕した。まことに残念ながら、筆者は所用で取材出来なかったが、初日が十五万人、二日目が十一万人で、二日間で予想を大きく上回る二十六万人が訪れたという。筆者はこれまで、盛岡、福島、山形と取材しているが、おそらくその混雑ぶりは尋常ではなかったと思う。以前の記事にも書いたが、東北を世界的な観光地にするには、交通・宿泊・現地等の観光インフラを拡充す

べきである。東北の未発掘の観光資源と比べると、観光インフラは格段に見劣りする。辛口コメントではあるが、東北の今後を考えると、観光産業が大きな位置を占めると声高に叫ばれている割には、インフラ整備が大きく遅れていることがまことにもつたいないと感じるのは筆者だけではないはずである。東北六県の関係者の奮起を期待したいものである。次回は青森市開催の方向で調整が進められるという。最後の開催で何かが変化するのを期待したい。



青森 ねぶた祭り



初登場・澤乃泉一日本橋開催

三陸酒海鮮会は、渋谷開催も、日本橋開催も、大分回数を重ねてまいりましたが、依然として参加者数は衰えず、両開催とも盛況のうちを終りました。参加いただいたみなさまに感謝申し上げますと

に、これからが本番の復興を迎える被災地の水産関連事業者および地酒関連事業者の方々に、陰ながら声援を送りたいと思います。

**第13回三陸酒海鮮会
渋谷開催(5/16)
第12回三陸酒海鮮会
日本橋開催(6/11)**



東北の地酒ラインアップー渋谷開催

こうした状況を見るにつけ、三陸被災地への関心が依然衰えていないことを実感いたします。そして「忘れるな」という言葉は、ここではまったく無縁の言葉です。

渋谷開催では、フランスからの参加がありました。東北の地酒がお好きということで、提供した全地酒銘柄をご存知のようでした。日本橋開催では毎回、東北の地酒の顔の紹介がありますが、今回は、宮城・登米市の「澤乃泉」で、大好評でした。

日本橋開催の方は六月十一日にささやさんで第十二回目を開催いたしました。渋谷開催は、五月十六日に焚火家さんで第十三回目を開催しました。

タイしゃぶというのはめずらしい。なんばんエビは、これからの季節にうってつけ。

料理して、食べて、復興を支援しよう！

水産業再興のための料理レシピ紹介

第10回目

**【タイしゃぶ】と
【なんばんエビのまるごとから揚げ】**



郷土料理愛好家 松本由美子氏



タイしゃぶ料理盛り付け



おいしそうなんばんエビ



なんばんエビのまるごとから揚げー完成

材料と作り方(タイしゃぶ)

【材料】

真鯛 300g / 絹豆腐 1丁 / 水菜 / オクラ / エノキダケ / 生しいたけ 4~5個 / 出汁昆布 10センチ 3まい / 水 1リットル / 鰹節 20g / 酒 大 2 / 塩 小 1/2 / ほんだし / 薬味にポン酢撫など

【作り方・食べ方】

鯛の刺身や野菜をさつとぐらせて食べる、粋な料理です。しいたけとエノキダケ、豆腐はしっかりと鍋で煮ます。葉野菜と鯛は、さつとぐらせて食べます。オクラや鯛のもちもち感が美味しいです。

材料と作り方

(なんばんエビのまるごとから揚げ)

【材料】

なんばん海老10数尾 / 片栗粉 / 塩・コショウ少々 /

【作り方・食べ方】

なんばんエビを軽く洗います。水分をふきとり片栗粉をまぶして油であげます。揚がったら、塩・コショウを振り、頭・エビの殻ごと召し上がります。新鮮な程甘みが強く出て美味しいです。

これからの季節はビールのおつまみに最高です！

東北観光を 平泉を中心に 点から線、 そして面へ

3年連続200万人超 の観光客が訪れた平泉

周知の通り、東北で唯一の世界文化遺産が、岩手県平泉町の「平泉—仏国土(浄土)を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群—」である。この平泉町を訪れる観光客の数は、世界遺産に登録された2011年の翌年から3年連続で200万人を超えている。また、震災のあった2011年は東北各地とも観光客数が大きく減少したが、平泉町には、その年の6月に世界遺産に登録されたこともあってか、震災の前年2010年すら上回る192万人の観光客が訪れている。震災以降、東北を訪れる観光客数は減少している。主な被災地である岩手、宮城、福島は3県だけではなく、震災後、東北の6県全てで観光客数が落ち込み、

平泉の文化遺産だけでは見えてこないもの

観光振興は、震災後の東北復興にとって、欠くことのできない要素であるだけに、そのバロメーターとしての観光客数の回復は喫緊の課題である。それに関して私が提案したいのは、「平泉」をキーワードとし、平泉を基点とした、東北各地の「観光連携」を強化するということである。

執筆者紹介

大友浩平

(おおともこうへい)

奥州仙臺の住人。普段は出版社に勤務。東北の人と自然と文化が大好き。趣味は自転車と歌と旅。

「東北ブログ」
http://blog.livedoor.jp/anagmasi/

Facebook
https://www.facebook.com/kouhei.ootomo



今更言うまでもないことだが、奥州藤原氏が勢力を振ったのは平泉周辺のみならず、現在の東北地方のほぼ全域に及んでいた。従って、東北各地には、奥州藤原氏に関わる伝承や遺構が残っている。しかし、それらは一部を除いて本当に知られていない。これは奥州藤原氏の「この世の浄土を創る」取り組みの全貌を知るといふ点からも、大変残念なことである。

奥州藤原氏はわずかに平泉だけをこの世の浄土としたこの東北の地全体を浄土としたかったのである。その奥州藤原氏の思いを知るためには、世界文化遺産の5つの構成遺産だけでは到底足りない。もちろん、中尊寺の金色堂も、毛越寺の浄土庭園も、観自在王院跡の浄土庭園も、金鶏山も、無量光院跡も、そうした取り組みを今に伝える貴重な遺産である。しかし、奥州藤原氏の目線は自分たちのいる平泉の範囲だけにあつたわけではなかった。平泉の遺産を見ているだけでは、そこが見えてこないものである。

平泉を基点とした 観光連携の可能性

平泉にある世界文化遺産の5つの構成遺産は、いわば3つのカテゴリーに分けられる。中尊寺の金色堂は

阿弥陀堂、毛越寺と観自在王院跡にあるのは浄土庭園、金鶏山は単独でも信仰の対象となつた山だが無量光院跡との組み合わせが重要な意味を持つ。これらは形こそ違ふがいずれも「浄土」を表している。

平泉との関わりで真っ先に思いつのが、金色堂以外に東北にあつた2つある阿弥陀堂である。一つは福島県いわき市にある白水阿弥陀堂、もう一つは宮城県角田市にある高蔵寺阿弥陀堂である。白水阿弥陀堂は奥州藤原氏初代清衡の娘徳姫が建立したものである。浄土庭園の中に阿弥陀堂があり、その意味では中尊寺金色堂と毛越寺浄土庭園の特徴を併せ持つような阿弥陀堂である。ちなみに白水(しろみず)は地名だが、その由来は「平泉」の「泉」の文字を2つに分けて名づけたものとの伝承がある。

高蔵寺阿弥陀堂は、奥州藤原氏三代秀衡夫妻が建立したとされる。なぜ秀衡がこの地に阿弥陀堂を建立したかについては以前拙ブログで論じたことがあるが、平永衡の供養のためだったのである。余談だが、中尊寺金色堂は奥州藤原氏三代の遺体と四代泰衡の首級が納められていることから葬堂であったと解釈され、初代清衡が自身の極楽往生を願つて建立したものとされる。採らない。供養願文で別

5つの構成遺産と関 連のありそうな遺跡

白水阿弥陀堂には浄土庭園もあり、その意味では毛越寺や観自在王院跡と「浄土庭園つながり」でもある。世界文化遺産登録からは漏れてしまったが、同じく登録を目指していた遺産のうち、同じ平泉町内にある達谷窟毘沙門堂にも実は浄土庭園があつたという伝承があり、今後それが発掘されればやはり「浄土庭園つながり」である。

岩手県紫波町にある樋爪館は、初代清衡の四男清綱の居館だつたところで、その周辺は「ミニ平泉」の様相を呈しているが、館の南に面して今も残っている五郎沼は元は浄土庭園であつたと言ふ。また、宮城県栗原市の旧花山村にある花山

廃寺跡からは発掘調査の結果、浄土庭園の跡が確認されている。これも「浄土庭園つながり」である。

金鶏山と無量光院跡との関係はまた独特である。無量光院跡から見る夕陽は、春と秋の年2回金鶏山山頂に沈むが、その時の夕陽は無量光院の本尊の阿弥陀如来の光背に重なり、まさにこの世の極楽浄土を感じさせる意匠となつていた。

やはり世界文化遺産登録からは漏れてしまったが、平泉の南隣の岩手県一関市内にある骨寺村荘園遺跡もやはり浄土との関わりがある。骨寺村荘園遺跡は中世の絵図にある田園が今もそのまま残っていることが特徴としてよく言われるが、そればかりでなくこの地に元々中尊寺の元になった寺院があつたとの伝承が残っている。それだけでなく、ここから見る夕陽が春と秋の年2回、栗駒山頂に沈むのである。

平泉の北隣の奥州市の旧衣川村には月山という小高い山があり、山頂にある月山神社は中尊寺の奥の院とも称された。同じ旧衣川村にある長者ヶ原廃寺跡から見る夕陽もやはり春と秋の2回月山山頂に沈むとのことで、これらは金鶏山・無量光院跡と「夕陽つながり」である。

後代と違った 「金」の意味合い

「浄土」という点では、

金との関わりも見逃せない。仏の世界は皆金色とされ、それを表現するのに金は欠かせなかったが、当時わが国で唯一の産金地帯が奥州藤原氏が君臨した東北であつた。岩手県西和賀町には鷲之巢金山跡があり、「秀衡掘り」の名も残る。秀衡街道と呼ばれる、金が運ばれたという古道があり、秀衡が建立したという久那斗神社(仙人権現社)もある。

岩手県陸前高田市には玉山金山跡があり、坑道跡が今も残る他、金商人だつたという吉次の屋敷跡もある。秋田県鹿角市には尾去沢金山があり、近くには秀衡の長男国衡が修復したという大日堂が今も残る。宮城県涌谷町はわが国最古の産金地で、黄金山神社がある。

岩手県江刺市にも奥州藤原氏時代の金山の一つという戸中金山跡がある。これらの金山から産出される金は当時、富や権力の象徴であつたのではなく、仏の世界を具現化するのに欠かせないものだつたのである。後代の足利義満の金閣や豊臣秀吉の黄金の茶室はまさに富と権力の象徴だつたのだろうが、それと同じ目線で金色堂を見てしまうと理解を誤ってしまう。

奥州藤原氏と関わり
の深い遺跡

浄土との関わりだけでなく、奥州藤原氏そのものとの関わりが見える遺跡はさらに多い。宮城県南三陸町

がある本吉郡は秀衡の四男の高衡が治めていたとされ、町内にある朝日館跡、保呂羽神社、大雄寺、荒沢神社、田東山などに、高衡や奥州藤原氏に関係する伝承が残っている。

山形県酒田市は奥州藤原氏の残党、酒田三十六人衆が築いたとの伝承が残る。この36人は、秀衡の妹とも後妻とも言われる徳尼を守護してこの地まで逃れてきたとのことである。徳尼はこの地に泉流庵という庵を構えて一族を供養し、それは今も泉流寺として残っている。また、秋田市で徳尼が乗ってきた白馬が死に、その地に草庵を作り祀つたのが現在の白馬寺の所縁とも言う。

秋田県鹿角市にある桃枝という小さな集落は、ほとんどの家が藤原姓である。昔源頼朝に追われて落ちてきた泰衡は、この地に宿陣した際、つき従ってきた家臣に「もし自分が戦死したら藤原の姓を継ぐように」と言い残し、それでこの地に残つた家臣は皆藤原姓を名乗つたのだという。

また、宮城県塩竈市の鹽竈神社には、秀衡の三男忠衡が奉納したという「文治の燈籠」がある。青森県五所川原市の旧市浦村には十三湖があるが、ここはかつて秀衡の弟が治めた一大貿易港だつたという伝承がある。

他にも紹介したい遺跡がまだまだあるのだが、紙面の関係でやむなく割愛させていただきます。

東北のスケールメリツトを活かせる連携を

このように、東北各地に平泉の文化遺産や奥州藤原氏に関連する遺跡・遺構が残っているのである。こうしたそれぞれの点を線で結び、面的に展開していくことができたならば、東北の観光はより活性化し、平泉のみならず東北全域をこの世の浄土とすることを目指した奥州藤原氏の取り組みもよりよい形で理解できると思うのである。

平泉も3年連続200万人超とは言い、その観光客数は微減傾向にある。他地域と連携することは、平泉自身の観光振興にもプラスになるはずである。平泉と、平泉と関連のある地域がまず連携してそれらを周遊するプランを作つて平泉の文化遺産だけでは飽き足らない観光客のニーズに応え、その平泉と関連のある地域がまた別の地域と連携してさらにその先にも足を延ばしたい観光客のニーズに応えるプランを作る。そのようにして、東北の各地域が観光面で連携のために知恵を絞ることで、この東北のスケールメリツトが観光に活かせる。平泉は決して東北の各地域にとつて、「他人事」ではないのである。

シリーズ 遠野の自然 「遠野の芒種」 遠野 1000 景より



新緑

遠野は、特に春以降の季節が時間経過とともに大きく変化していく。二十四節気区分で細かく追跡していくと、その変化を分かっていただけだろう。
*
ということ、六月初めは芒種。「ぼうしゆ」と読む。筆者も初めて出くわした言葉。次の節気は夏至である。

が、それまでの期間も指す。
*
まずは、この眼を刺すような鮮やかな新緑を見たい。ただこう。
すがすがしい日差しを浴びた若葉の勢いが、見る側にも若々しいエネルギーを与えてくれる。
また、筆者はことさら夕暮れの景色が好きである。



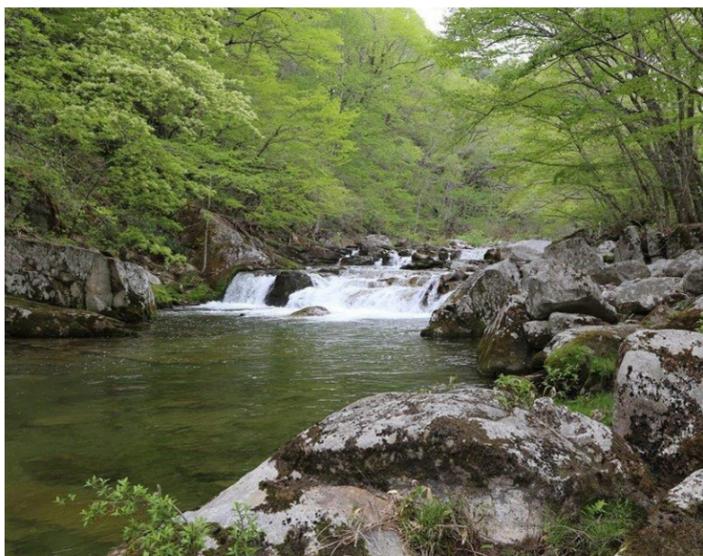
高清水高原の夕景

朝日もいいが、年を重ねたせい、何とも味わい深い夕暮れは何ともいえない。
*
刻一刻と色合いを変え、完全に日が沈む直前の夕焼け色がたまらなく好きである。遠野のこの季節、この環境だからなおさらいいのである。
*
市内附馬牛町にある重湍

溪(チヨウタンケイ)はまだ訪ねたことはないが、いつか必ず行ってみたい。
*
写真からも水が明らかに温んでいるのが分かる。水の音が聞こえてくるような写真である。
*
花も咲き乱れる。ツツジが鮮やかだ。
シウリザクラの花は変わ



マイヅルソウ



重湍溪

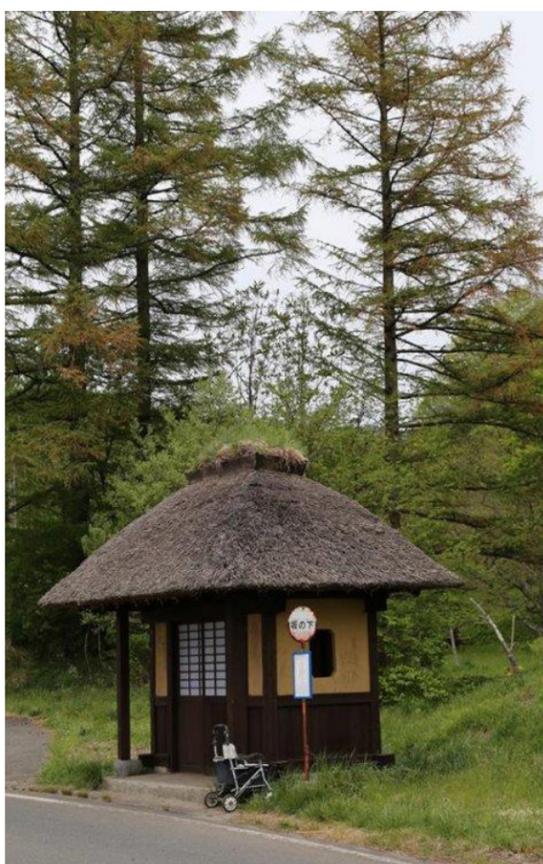
ついでに。バラ科サクラ属であるから、ソメイヨシノの遠い親戚である。
*
超ローアングルからのマイヅルソウの写真は、小人になった感覚を与える。
*
茅葺きバス停にはめったにお目にかかれないだろう。一人でいたら昔にタイムスリップしそうだが、そこには現代の器械があつて、時代を飛び越えられない。



重湍溪とツツジ



ツツジ



茅葺きバス停



シウリザクラ

笑い仏さん、ついに東京入り

4月末から6月初めまで世田谷区の観音寺にご逗留 東京にありながら広く静かな境内は憩いの場提供 謂れのある建造物や彫刻などが多く見られる場所 この後、千葉は成田山新勝寺へ

MONKフォーラム代表
平原憲道氏 長谷川稔氏 寄稿

笑い仏さん

福島への行脚

第十九回



ゆったりした境内

東日本大震災およびそれに続く原発事故による被害と闘う福島県を目指して進むのが、我が「笑い仏」さんです。4月末から6月初旬までは、東京都世田谷区にある観音寺に逗留させて頂いております。このお寺は、大都会東京にありながらも緑の多いゆったりとした境内をお持ちで、静かな住宅地の中に憩いの空間を展開しております。そのせいか、近所の方々も含めて多くの参拝者が常にぶらりと立ち寄り、その光景自体にも癒されるのです。

その広い境内には多くの石仏や謂れのある建造物がありますが、順番に見て行くことにしましょう。まずは山門。立派な金剛力士像に出迎えられるのが、この巨大な提灯。この前ではしばしば立ちま



山門の巨大な提灯

しよう。そして、手を打つてみて下さい。すると、「ぼちよん」洞窟の水音のような済んだ音が反響します。面白いので、皆さん必ず何回もパンパンと手を打たれます。これが「龍の鳴き声」です。この現象を物理学的に説明すれば、固い面の面との間で短い音を発すると生じるフラッターエコーの結果だそうで、奇妙な音が反響することになります。かの日光東照宮薬師堂のものが有名と聞きます。

次に、境内に入るとすぐ右にある特徴的な建物に気が付きます。阿弥陀堂です。中は自由に入れますので扉が少し固いですがどうぞと執事さんに言われて入りました。かの巨人軍・川上監督もここで祈りを捧げられたとか。



阿弥陀堂



章駄天の扁額

ご住職に「あのお堂の扁額を、ちよつと見て下さい」と言われ仰ぎ見ると、「章駄天」と書かれてありました。足がとも速いインドの神様で仏法の守護神です。日本でも俊足の方のことをこう呼びます。この扁額に揮毫されたのは、金栗四三(かなぐりしろう)と仰る方。皆さん、ご存じでしょうか？

あの箱根駅伝の創設にも尽力されたお方で、日本最初のオリンピック選手として、1912年にストックホルム五輪に出場されたそうです。ただ、このレースにおいて金栗選手は、酷暑もあつて意識を失い、途中棄権となつてしまいました。ところがどっこい、話はここでは終わらぬのです。

1967年に、スウェーデン五輪委員会が、「当時の金栗選手の棄権は公式には認められてはおりん」と宣言し、元選手を招待。年老いた金栗氏が競技場を回り、遂にゴールインとなつたのでした！実に、「54年8ヶ月6日5時間32分20秒3」という大(！?)記録を打ち立てて、表彰されました。



見事な龍の彫刻

その、日本マラソンの祖が書かれたのがこの「章駄天」の三字。何ともありがたさがあふれるものです。多くす。ちなみに、運動会でありの選手になりたい我が家の8歳の長男も熱心に祈っております。

そして、聖観音さまがおられる本堂へ進みます。お堂の前で見上げれば、見事すぎる彫りものです。多く

のお寺を訪問しますが、これほどのものはあまり記憶にありません。聞けば、オリジナルは福井城にあったもので、それがボストン美術館に持っていかれたものを模写して製作したとのこと。金沢の名工が造られたと聞きました。立派ですよ。ね。

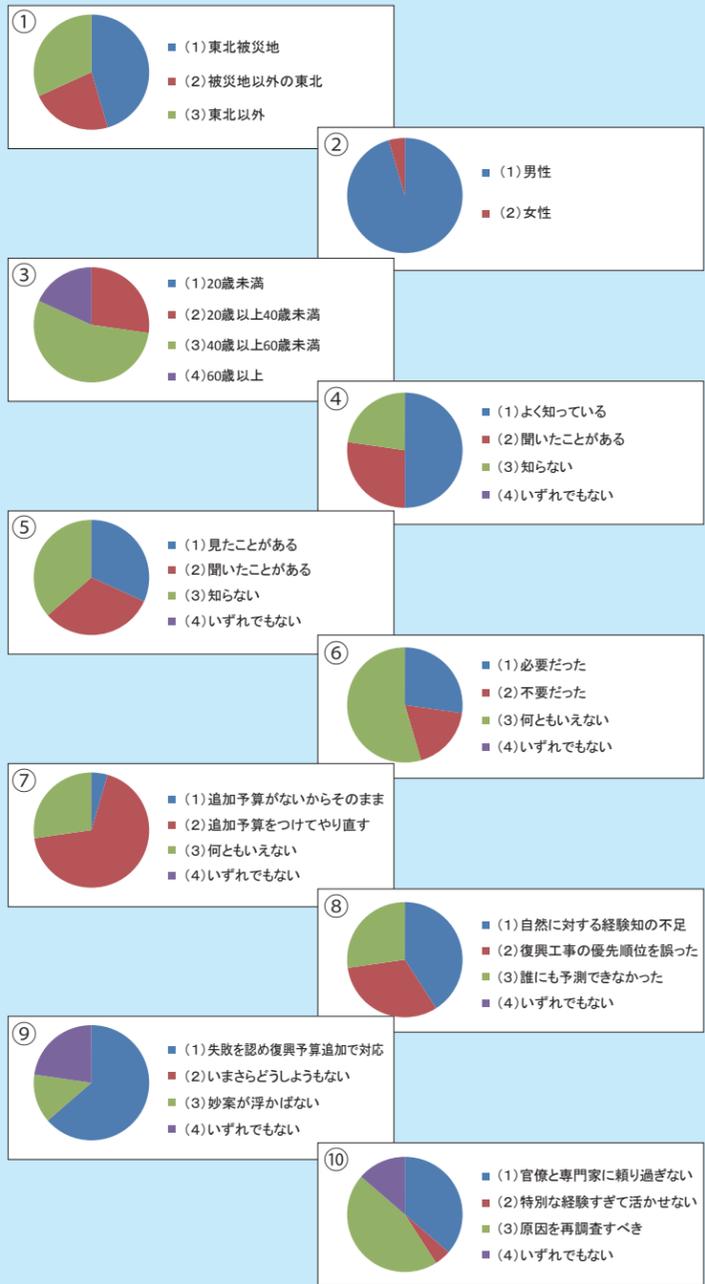
こうして興味深い観音寺さんでの逗留を終えて、6月10日に笑い仏さんは千葉県成田山新勝寺を目指して歩を進められました。

世田谷観音
〒154-0002
東京都世田谷区下馬4-9-4
電話 03-3410-8811
HPアドレス
<http://www.setagayakannon.com/>
(MONKフォーラム代表
平原憲道・長谷川稔)

第36号 ネットアンケート集計結果

【被災地沿岸部の地盤上昇を知っていますか?】

| NO. | 質問と選択肢 | 回答数 |
|-----|--------------------|-----|
| ① | 住所 | |
| | (1) 東北被災地 | 10 |
| | (2) 被災地以外の東北 | 5 |
| ② | 性別 | |
| | (1) 男性 | 21 |
| | (2) 女性 | 1 |
| ③ | 年齢 | |
| | (1) 20歳未満 | 0 |
| | (2) 20歳以上40歳未満 | 6 |
| | (3) 40歳以上60歳未満 | 12 |
| ④ | 地盤上昇があることを知っていますか? | |
| | (1) よく知っている | 11 |
| | (2) 聞いたことがある | 6 |
| | (3) 知らない | 5 |
| ⑤ | どの程度の上昇か、知っていますか? | |
| | (1) 見たことがある | 7 |
| | (2) 聞いたことがある | 7 |
| | (3) 知らない | 8 |
| ⑥ | そもそもかさ上げは必要だったか? | |
| | (1) 必要だった | 6 |
| | (2) 不要だった | 4 |
| | (3) 何ともいえない | 12 |
| ⑦ | 上昇してしまった岸壁をどうするか | |
| | (1) 追加予算がないからそのまま | 1 |
| | (2) 追加予算をつけてやり直す | 15 |
| | (3) 何ともいえない | 6 |
| ⑧ | どうしてこうなったと思いますか? | |
| | (1) 自然に対する経験知の不足 | 9 |
| | (2) 復興工事の優先順位を誤った | 7 |
| | (3) 誰にも予測できなかった | 6 |
| ⑨ | 今後の復興予算削減と地盤上昇の関係 | |
| | (1) 失敗を認め復興予算追加で対応 | 14 |
| | (2) いまさらどうしようもない | 0 |
| | (3) 妙案が浮かばない | 3 |
| ⑩ | この経験をどう活かすか? | |
| | (1) 官僚と専門家に頼り過ぎない | 8 |
| | (2) 特別な経験すぎて活かさない | 1 |
| | (3) 原因を再調査すべき | 10 |
| | (4) いずれでもない | 3 |



今回は【被災地沿岸部の地盤上昇を知っていますか?】。マスメディアはこの問題をあまり取り上げませんでしたが、被災地の水産業者は大変困っていると聞いています。岸壁上昇のために、作業のなかで、けが人まで出たという話もあります。回答者数は二十一名でした。

「地盤上昇があることを知っていますか?」は「よく知っている」と「聞いたことがある」とで合計約77.3%。知られているようです。「どの程度の上昇か、知っていますか?」は答えが三分。「そもそもかさ上げは必要だったか?」は約54.5%が「何ともいえない」と複雑な心境を反映。「上昇してしまった岸壁をどうするか?」は圧倒的に「追加予算をつけてやり直す」が多く約68.2%。「どうしてこうなったと思いますか?」も答えがほぼ三分して複雑な心境。「今後の復興予算削減と地盤上昇の関係」は「失敗を認め復興予算追加で対応」が圧倒的約63.6%。「この経験をどう活かすか?」は、「原因を再調査すべき」が約45.5%、「官僚と専門家に頼り過ぎない」が約36.4%。

最近になってようやく、過去の巨大な自然災害への対応が研究されるようになってきたように感じられる。なぜいつも起きてからなのかと思う。日本は昔から自然災害の国なのである。

編集後記

一部バス代行で対応していた仙台石巻間を走る仙石線が、五月三十日に全線復旧した。

筆者も何度かこのバス代行を利用したが、取材を兼ねて、バスからの風景を撮影するならまだしも、通勤やビジネスで利用するのは非常に困難だったと思う。何せ約二時間も要していたのである。今般の全線復旧で、一挙に最速五十二分に短縮された。

石巻にさまざまな縁のある者として、喜ばしいことこのうえない。

交通アクセスの改善は、復興にも大きな影響を与えるだろう。復興支援のボランティアの方々にも大変便利になるはずである。

また、これから夏を迎えるが、三陸には、おいしい海産物がたくさんあり、地酒もおいしい。ぜひ足を運んで欲しいものである。

特に現地で新鮮なホヤを食べていただきたい。初めての方には多少勇気がいるかもしれないが、食べてみればやみつきになること請け合いです。

このホヤであるが、今年には豊作とのことだが、最大顧客であった韓国の禁輸措置により、出荷できず、海のなかで成長しすぎてしまっているのではないかと心配されている。

ぜひ現地でもホヤを食べていただきたいものだ。

「東北を世界に！」プロジェクト募集

・プロジェクト募集要領

- ① 東北の復興、活性化、再興を目的としたプロジェクト企画であれば、何でも可
- ② 応募資格は特に定めず、被災地、被災地以外の居住も問わず、国籍・年齢・性別を問わず
- ③ 企画書のようなものがあれば可---形式自由(プロジェクト名、プロジェクト期間、目的、どうやって実現するかの手段、仲間などを明記していただきたいと思ひます)
- ④ 〆切はとくに設けません

「東北を世界に！」プロジェクト募集

・連絡先/企画提出先

(郵送) 〒207-0005
東京都東大和市高木3-315-1
ホームタウン宮前2-2
電子タプロイド新聞【東北復興】宛
(メール) yumuyu@wj8.so-net.ne.jp

・ご提案いただいた企画については、当新聞で責任をもって検討させていただいた上で、企画開始に向けてのしかるべき方法・手段をご提案するなり、企画実現のための仲間を募ってまいりたいと考えております。また、当新聞でご紹介させていただきたいと思ひます。(氏名公表か非公表かはご相談)

・たくさんのご提案をお待ちしています